

地区方針「奉仕の心を未来へつなげよう」



2023-2024年度

国際ロータリー第2630地区

ガバナー 篠原 一行

新型コロナウイルスの流行によって世界の価値観は大きく変わり、ロータリー活動も大きく制限され、ニューノーマルを意識した行動が求められるようになりました。

RI会長のテーマは、「世界に希望を生み出そう “CREATE HOPE in the WORLD”」です。

私たちの目標は、紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。平和とは、希望が根づくための土壌です。世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーは、より平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

ロータリーは、今までに多くの奉仕プロジェクト事業を实践して、多くの人に多くの希望を与えてきました。これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、ひとつずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています。平和とは、紛争や戦争がなくなることは勿論ですが、治安が守られていること、貧困や飢饉がなくなること、家族と平穏に暮らせること、人間として最低限の生活ができ、何の心配もなく暮らせることなどです。ロータリアンは奉仕の心をもって、未来のために多くの問題改善に力を入れてきました。

世界に希望を生み出すためには、多くの人たちに希望を与えることが必要です。そのためには、奉仕の心を常に持って、未来のために、そして未来の人たちのために、奉仕の心をつなげていくことが大切です。

私のガバナーとしての地区方針は、「奉仕の心を未来へつなげよう」です。日本のロータリーは、例会をとっても大切にしています。「入りて学び、出でて奉仕せよ」「例会の場で奉仕の理念を学び、外では奉仕の実践を」であります。

日本には素晴らしい『地域』があって『ロータリー』があって『ロータリアン』がいます。例会で多くのことを学び、奉仕の心を磨き、奉仕の実践をして、奉仕の心を多くの人たち

につなげていくことで、奉仕の輪が広がり、地域社会の発展、広くは世界の発展、世界平和に貢献できるようになるでしょう。私たちが、未来のために共に行動しようではありませんか。

日本のロータリーは、職業奉仕・四つのテスト・ロータリーの目的・例会を重視してきました。そして、ロータリーの二つの公式標語の一つ、「超我の奉仕」はボランティア奉仕の哲学を表しています。そしてもう一つ、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」。これは実践論ですが、他者に対する正しい経営の科学のみが引き合います。経営とは、人間的な奉仕の科学であります。その仲間に最もよく奉仕する者が、最も多く報いられます。

ロータリーは、ポール・ハリスと3人の仲間の「友との語らいの集い」から始まりました。それは、「信頼と寛容」の世界であり、やがて奉仕の概念が芽生え、「奉仕の理想」を求めて、それがひとつの心に結ばれて仲間意識「親睦」を育む集い「例会」となって世界に広まっていきました。

特に日本では、第二次世界大戦の最中で奉仕活動がままならぬ時も、我々の先輩はロータリーの名を隠して「例会」を守り続けました。戦後の経済成長に職業奉仕の精神がどれほど原動力になったことでしょう。

同時に、日本のロータリーは素晴らしい奉仕プロジェクトを多く実践してまいりました。社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・インターアクト・ローターアクト・青少年交換・米山記念奨学等があります。そして、ロータリー財団におきましては、数多くの奉仕プロジェクト事業、ポリオ根絶活動・ロータリー財団奨学生など、素晴らしい功績がたくさんあります。

さらに、ロータリーは社会に貢献する世界的な団体として、日本で大切にされてきた“ロータリー観”と“ロータリアン同士の親睦”を基盤に、立派なロータリアンを育てながら、価値ある奉仕活動を通じて、立派なロータリアンを育てることがとても大切であります。～ロータリーは『親睦・学び・成長・奉仕』です。～

地区活動方針

1 RI会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を強調推進し、地区テーマ「奉仕の心を未来へつなげよう」を理解し奉仕を実践する。

2 RI戦略計画の推進

戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、そして活性化して、ク

ラブの将来あるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立てていく。

3 会員増強基盤の強化・会員維持・DEI推進・新クラブ推進

- 女性会員や40歳未満の会員の入会、またローターアクトクラブへの入会の奨励
- 新クラブ（衛星クラブ・Eクラブ等）の推進を強化する。
そして各クラブ1名以上の純増と会員数の維持を図る。
- 会員間での懇親・親睦を深め、会員維持に努める。

4 公共イメージと認知度の向上

- メディアの活用と、SNSやウェブサイトを推奨する。
- My Rotaryの登録を奨励する。
- 社会に広く認知されるよう努める。

5 青少年育成の推進及び地域社会での奉仕活動の充実

- インターアクト、ローターアクトクラブ、青少年奉仕、青少年交換事業への支援と協力体制を強化する。
- ローターアクトとの交流を深め、委員会会合、奉仕活動等の参加を促し、会員の増強となるよう将来へつなげる。

6 ロータリー財団補助金の積極活用と寄付への理解・推進

- 地区補助金全クラブの活用、グローバル補助金の活用
- 奉仕プロジェクト委員会との連携
- 年次寄付 150ドル以上/1
- ポリオ寄付 30ドル以上/1名
- 恒久資金 1,000ドル以上/1クラブ

7 米山奨学事業への参加と支援

- 奨学生支援（世話クラブ・カウンセラー引き受け）
- 寄付推進 12,000円以上/1名

8 RIロータリー賞・RI会長賞への積極的なチャレンジ

- 「ロータリークラブ・セントラル」にアクセスし、25の目標の中から13の目標を設定し、目標達成に努める。
- 「ロータリークラブ・セントラル」へ進捗状況を報告し、達成を祝う。

強調事項

- 1 例会は、ロータリー活動を支える上で重要な場と捉え、有意義な例会開催を行い、積極的な出席を促す。
- 2 奉仕プロジェクトは、クラブの強化につながり、公共イメージの向上に寄与する。
- 3 クラブ研修リーダーによるクラブの活性化、及び会員基盤の強化を推し進める。
- 4 My Rotaryでは、多くの情報が得られるため、My Rotaryへの登録率の50%達成を目指す。
- 5 ロータリーカード、個人カード、クラブカード、地区委員会カードの推進を図る。

2023-24年度 年次目標 ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. 奉仕プロジェクトの支援
 - ・地域社会や国際社会に大きな成果をもたらす奉仕プロジェクトを推進し、これを実施するクラブを支援する。
2. ポリオプラスへの協力
 - ・ポリオ根絶のための寄付を推進する。
 - ・ポリオ根絶活動を公共イメージの向上に繋げる。
3. 青少年プログラムの強化
 - ・青少年育成・インターアクト・ローターアクト・青少年交換プログラムを推進し、新しい青少年奉仕プロジェクトを支援する。
4. 人道的奉仕プロジェクトの推進
 - ・ロータリー財団への寄付を奨励する。
 - ・地区補助金を活用したプロジェクトを推進する。
 - ・グローバル補助金を利用した7つの重点分野におけるプロジェクトを推進する。

5. 米山奨学会事業の推進

- ・公益財団法人米山奨学会への寄付を奨励する。

優先事項2 「参加者の基盤を広げる」の目標

1. 会員基盤の強化と参加者の多様性の推進

- ・ロータリーと価値観を共有できる他団体との繋がりを広げ、共に奉仕活動を実施することを奨励する。

2. インターアクト・ローターアクト・学友とのパートナーシップの強化

3. 公共イメージの強化

- ・ロータリーの活動を、様々な広報ツールを用いて積極的に広報し、一般市民のロータリーに対するイメージと認知度の向上を図る。
- ・メディアとの関係を強化し、ロータリーおよびその奉仕活動を広報する。
- ・SNSやウェブサイトなどのオンラインツールを通じての情報発信を推奨する。
- ・My Rotary登録を奨励し、ロータリークラブ・セントラルの活用を推進する。
- ・ロータリーの職業奉仕の理念およびロータリーが「倫理と高潔性」を強調する組織であることを、社会に広く認知されるよう努める。

4. 中核的価値観の推進

- ・親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップの5つの中核的価値観を大切にすることを会員が認識する。
- ・ロータリーが、中核的価値観を大切にしている組織であることを社会に広く認知されるよう努める。

優先事項3 「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

1. 会員基盤の強化と多様性(年齢・性別・国籍などの多様性)の推進

- ・女性会員の入会を推進する。
- ・職業分類表を作成・活用により会員増強を図るよう奨励する。
- ・会員増強と維持に関するアイデアを共有し支援する。
- ・衛星クラブ・Eクラブ等、新クラブ設立を推進する。

2. 地域社会にロータリーの価値を広く伝えるような魅力あるクラブづくり、魅力ある奉仕プロジェクトの実施の推進

- ・ロータリーのブランドイメージ向上による会員増強を図る。

3. リーダーシップの育成およびスキル研修の機会を提供
 - 地区研修・協議会、地区セミナーを効果的に実施する。
 - クラブ研修リーダーの活動を支援する。
 - 研修において職業奉仕の理念の浸透とその実践を強調する。
4. 地区委員会など地区の活動に対し、会員の積極的な参加の奨励
5. 各クラブにおける戦略計画の立案の奨励と支援

優先事項4 「適応力を高める」の目標

1. DEI (Diversity・Equity・Inclusion) の推進
「ダイバーシティー(多様性)」、「エクイティ(公平性)」、「インクルージョン(包括性)」を推進する文化を築く。
2. ガバナンス、構造、プロセスの合理化
3. 意思決定における多様な考えの推進
4. 重点項目、優先順位を考慮し、効率的な組織への推進